

主な内容

4面 江戸川区議会議員選挙・江戸川区長選挙
ヒブワクチンおよび小児用肺炎球菌ワ
クチンの接種票の発送などについて
「セーフティネット保証制度」が全て
の業種で利用できるようになりました

■発行/江戸川区 ■編集/広報課 〒132-8501 江戸川区中央1-4-1 ☎(3652)1151(代表) FAX(3652)1109 ホームページ <http://www.city.edogawa.tokyo.jp/>

まもなく開館1周年！ 子ども未来館



4月29日(祝)、子ども未来館は開館1周年を迎えます。子どもたちの探究心を広げる様々なプログラムが体験できる「子どもアカデミー」と「篠崎子ども図書館」で、「学びの活動」や「探究活動」を応援します。子ども未来館で、未来に向かって夢を広げませんか。 ☎ 子ども未来館 ☎(5243)4011

子どもアカデミー

日常の中で生まれた「不思議」や「驚き」を、探究する基地です。また、半年から1年間かけて一つのテーマを探究するクラブ・ゼミや、当日参加もできる教室、講座などのプログラムも実施しています。



連休は「まるごと！ 未来館ウィーク」に行こう！

開館1周年を記念して、楽しく学べる教室などを数多くご用意しています。直接会場へお越しください。

☎ 下表のとおり ☎ 子ども未来館 ☎(5243)4011

教室名	日程	内容	対象
山の幸染めに挑戦	4月29日(祝)10時から	自然素材とアイロンを使ったエコな染め物作り	
江戸川土手の昆虫観察	4月30日(土)10時から	春の昆虫を探します(昆虫捕り網・かご)	小学生各24人
作ろう！ 飛ばそう！ 竹とんぼ	5月1日(日)14時から	ナイフやカッターを使った木工作り	
葉脈標本作り	5月3日(祝)14時から	ひいらぎの葉を使った葉脈のしおり作り	小学生30人
暮らしに役立つ風呂敷講座	5月4日(祝)14時から	風呂敷を使ったいろいろな包み方を学びます	小学生24人
発見！ DNAの正体	5月5日(祝)10時から	目で見るDNAの不思議	小学生16人

※いずれも先着順です。また、時間は45分～1時間30分程度です。

篠崎子ども図書館



子ども用の図書を中心に、紙芝居や絵本、保護者向けの子育ての本など約3万3千冊を揃えています。また、おはなし会など、親子で一緒に楽しめる催しなども実施しています。

次々と寄せられる温かい善意 東日本大震災義援金を受け付けています

今回の災害で被災された方々のために、区民のみなさんから多くの義援金が集まり、4月3日現在で総額7,249万4,559円となっています。引き続き、温かいお気持ちをお待ちしています。 ☎ 総務係 ☎(5662)6194

■窓口での受け付け 総務課(区役所3階4番)、区民課(区役所南棟1階)、各事務所、江戸川保健所、各健康サポートセンター・コミュニティ会館・スポーツ施設・図書館・共育プラザ、タワーホール船堀、総合文化センター、グリーンパレス(社会福祉協議会を含む) ほか

郵便振替で送金

送金先(加入者名) ⇨ 日本赤十字社 東北関東大震災義援金
口座番号 ⇨ 00140-8-507

まだ間に合う！ 人気のゼミ

「つながる水の生きものたち ~江戸川から世界の海へ~」

江戸川や海にすむ生き物と環境について学んでみませんか。

☎ 初回 ⇨ 4月30日(土)14時～16時、第2回 ⇨ 5月3日(祝)10時～12時30分 ほか(全14回)

※第3回以降の日程は、初回にお知らせします。

☎ 小学4～6年生24人(抽選)



☎ 場申込 教室名・住所・氏名(フリガナ)・学校名・学年・保護者氏名・電話を記入し、4月16日(土)までに往復ハガキで郵送(必着) またはファクシミリで、〒133-0061 篠崎町3-12-10 子ども未来館 ☎(5243)4011・FAX(5243)6811

江戸川区長 多田正見

大地震、大津波、そして原発の事故。これらの文字の上に「超」が付くような大災害になりました。亡くなる方が多くの方々に、哀悼の意を表します。また、今なお痛ましい生活を続けている方々に、どのような言葉をかけてよいのかわかりません。国を挙げて、あるいは海外からも救援の手が差し伸べられていますが、長い苦難の道のりがまさか始まったばかりです。

この地震により、区役所本庁舎屋上の重さ30トンの煙突が根元から折れ、2日間かけて撤去しました。もし地上に落ちていたらと思うと肝を冷やしました。

また、清新町の液状化には驚きましたが、隣の浦安市では埋立地の大半が大被害を受けました。市長から直接電話で復旧応援要請があり、区内業者の皆さんにも大変お世話になりました。

一方、多くの義援金をはじめ、区民の皆さんの温かい支援の輪が広がっています。福島県から被災者が避難しているところから、食事は、近隣の皆さんが食事の差し入れや生活用品を提供してくださっています。

作家で僧侶の瀬戸内寂聴さんの朝日新聞への寄稿、「無常 どん底は続かない いろんな不幸の中でも希望の見える世 信じて」のよう

